

# 裁判官！当職そこが 知りたかったのです。

—民事訴訟がはかどる本—

岡口 基一(裁判官)・中村 真(弁護士) [共著]

定価=本体2,600円+税 A5並製 192頁 ISBN 978-4-313-51165-1 2017年12月刊

## 法曹関係者必見のタッグが実現！

### 内 容

イラストで人気の中村真弁護士が岡口基一裁判官にインタビュー！？いま民事裁判が抱える問題からナゾに包まれた裁判官の日頃のお仕事まで、法曹関係者の「気になる」がこれでもかと詰まった珠玉の対談本！もちろん中村真弁護士の描き下ろしイラストも満載！

### 目 次

#### 第0章 これからの民事訴訟を語らうこと

- ◆そもそも民事訴訟とは何のための手続きか
- ◆法曹二者でぶつかって得られるもの

#### 第1章 書面

- ◆裁判官から見た「よい書面」「悪い書面」
- ◆代理人から見た「手強い書面」「脅威にならない書面」

#### 第2章 審理

- ◆代理人のキャラクターが及ぼす影響
- ◆上級審に移審した際の影響は考慮されているのか

#### 第3章 証拠の提出

- ◆「適時提出主義」の「適時」とはいかに
- ◆陳述書にはなにを記載するべきか

#### 第4章 尋問

- ◆「尋問バッチリだったのにこの判決？」という疑問が生じるワケ
- ◆陳述書に全部書いたんだけど

#### 第5章 和解

- ◆和解のメリット、デメリット

- ◆和解がふさわしい事件、ふさわしくない事件
- ◆見逃している？裁判官の出すサイン

#### 第6章 釈明

- ◆釈明権行使を行う際の考え方と配慮
- ◆真実を求めるために行うのか

#### 第7章 審理の終結

- ◆上訴の可能性はどの程度考慮して判決を出しているのか
- ◆上級審で判断が覆された！そのとき原審の裁判官は

#### 第8章 判決

- ◆意外と知られていない控訴理由書の作法
- ◆裁判官が控訴審で着眼する点

#### 第9章 上訴

- ◆ブラックボックス？裁判官の転勤時の引き継ぎ
- ◆こんな裁判官は良い裁判官

#### 第10章 裁判所のお仕事

- ◆これだからこの仕事はやめられない
- ◆それでもこの仕事はやっぱりツライ
- ◆岡口流！タスク管理・時間術

#### 第11章 弁護士のお仕事

- ◆裁判所・事件の空気を読むか否か
- ◆事件の筋読みの上手いへタ
- ◆こんな代理人は良い代理人

#### 第12章 その他

